

平成21年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	高鍋町移動支援事業				開始年度	18	
基本目標	社会福祉の充実したまちづくり				終了年度		
担当課(局)	健康福祉課	担当係	社会福祉係	記入者	大野 慧	評価者	井上 敏郎
20年度決算	4,979	千円	21年度予算	6,486	千円	事業の実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 単独
20年度人件費	1,035	千円	21年度人件費	1,748	千円	事業従事者数	0.14 人 0.24 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	屋外での移動が困難な障害者及び障害児に対して、外出時における移動支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加の促進を図ること
事業の内容	個別的な支援が必要な障害者等に対するマンツーマンによる支援(ガイドヘルパーが移動に随行する)

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 実利用者数	移動が困難な障害者等に周知し、一人でも多く事業を利用してもらう。
	2 実施事業者数	事業者に積極的な事業の展開を協力してもらい、障害者等の社会参加を促進する。
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 行事参加回数	町、郡、県スポーツ大会等を周知・運営し、普段閉じこもりがちな障害者等の社会参加を促進した。
	2	
	3	

◎達成状況

指標名		単位	19年度	20年度	21年度	
成果指標	実利用者数	目標値	15	15	15	
		実績値	14	15		
		達成率	93.3%	100.0%		
	実施事業者数	目標値	箇所	3	3	4
		実績値		3	4	
		達成率	%	100.0%	133.3%	
	0					
活動指標	行事参加回数	目標値	回	3	3	5
		実績値		3	3	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
		0				
				#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	障害者の自立を促進すること、また、障害児をもつ保護者の負担軽減を図るために、専門的な知識と技能を有した移動支援事業者が行う必要がある。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	障害者等の社会参加促進や日常生活上の手助けとして有効である。利用者のニーズを把握し、さらに利用者だけではなく、事業者側も健全な経営ができるような改善が求められている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	現行の実施要綱では、社会生活上必要不可欠な外出と明記されているが、それが何を指すのかが明白ではないため、本当に必要でないものにまで利用をしている状態である。実施要綱で利用できる要件を明白にし、適切かつ有効な利用につなげる必要がある。
協働性	◎町民との協働の可能性があるか(ボランティア・NPO等)	実施者にはガイドヘルパーの資格が必要であるが、それが可能な団体等があれば、ボランティアやNPOに協力してもらうことは、十分に考えられる。

事務事業名	高鍋町移動支援事業	担当課(局)	健康福祉課
-------	-----------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	事業自体は必要不可欠であるが、利用時間数や利用要件に制限がないために無制限になっている。本年度中に整備を行う。	今後の方向性				
			拡充				
			現状維持		○		
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎検討すべき事項については整理して事業を進めてもらいたい。
	コスト	縮小	